

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東舞鶴駅前開発	階数	地上2F
建設地	京都府舞鶴市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	50人
気候区分		年間使用時間	XXX時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2013年7月 予定	評価の実施日	2013年6月15日
敷地面積	6,549 m ²	作成者	㈱K, プランナーズ野村 茂
建築面積	5,183 m ²	確認日	2013年6月16日
延床面積	9,656 m ²	確認者	㈱K, プランナーズ野村 茂

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★☆☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆★★★★☆☆☆☆☆

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 55%
③上記+②以外の 55%
④上記+ 55%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項	
<p>総合</p> <p>1: 当該建物は商業施設で商業地域内にある為、配置、容積の確保を効率的に行った。又密集する市街地に建設するため周囲に騒音等の影響を抑えるために最上階に設備機器を配置し周囲を開き置場の外壁で囲った。限られた空地には必要な緑地を設け緑の環境にも配慮した。</p>	<p>その他</p> <p>1: 特に無し</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>1: 空調方式としては空気熱源ヒートポンプ方式(EHP)高効率タイプとし、ゾーン毎に空調が制御できるようにしている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>1: 配管材料などはほぼ全て(C)以上のランクを仕様している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>1: 空調方式として高効率タイプの空気熱源ヒートポンプ方式(EHP)を採用している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>1: 大便器・小便器は節水型を使用している。</p>
	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>1: 密集した市街地に建設するため限られた空地には必要な緑地を設け、交流広場などを設置するなど配慮した。</p>
	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>1: 照度・輝度を与える範囲に適正な設定を行い外部にあまり影響を与えない様に考慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される